

水害被害の軽減に向けた取り組み

国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所のこれまでの取り組みを紹介します。
今後も水害被害を軽減できるようインフラ整備や啓蒙活動に取り組んでいきます。

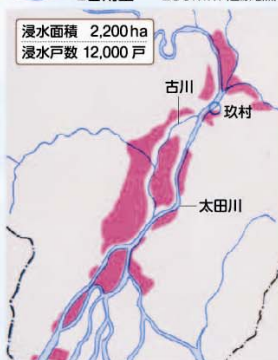
太田川放水路の整備と効果



洪水被害の比較

太田川史上最大規模の洪水時の浸水区域を比較すると、太田川放水路、高瀬堰、温井ダムなどの治水事業の効果により、浸水被害が大幅に軽減されました。

昭和18年
(9月洪水)
〈放水路通水開始前〉
洪水 6,700m³/s
2日雨量 298mm (西原地点)



昭和47年
(7月洪水)
〈放水路完成後〉
洪水 6,800m³/s
2日雨量 309mm (玖村地点)



平成17年
(9月洪水)
〈温井ダム、高瀬堰等の完成後〉
洪水 7,200m³/s
2日雨量 240mm (玖村地点)



高潮堤防の整備と効果



高潮被害の比較

平成3年と平成16年に同じ規模の高潮が発生しましたが、堤防整備を推進してきたことにより、浸水戸数は1/10程度にまで減少しました。今後も更に安全・安心な暮らしを守るため堤防整備を進めていきます。



	観測潮位	浸水面積	浸水戸数
平成3年 台風19号	2.91m	424ha	床上浸水 423 床下浸水 1,220
平成16年 台風18号	2.96m	354ha	床上浸水 86 床下浸水 92

これは
すごい効果だ!!



国土交通省中国地方整備局

太田川河川事務所

〒730-0013 広島市中区八丁堀3番20号 TEL.082-222-9245 <http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>



国土交通省が防災フェアを開催します！



これまでの堤防整備やダム建設により災害は着実に減少してきておりますが、その整備は未だ十分とは言えません。また、近年集中豪雨による災害も増加しています。これらの災害による被害を最小限に抑えるためには堤防整備等のハード対策と避難等のソフト対策を一体的に進めていくことが重要です。

そこで、下記の日程で災害の恐ろしさを実際に体験してもらう「防災フェア」を開催します。

降雨体験



ゲリラ豪雨と言われるような「時間雨量100mm」の雨を体験して頂きます。

地震体験



阪神淡路大震災クラス（震度7程度）の地震を体験して頂きます。
（協力：広島市 消防局）

浸水体験



浸水被害が起こった時に、普段は簡単に開くドアが、どれほど重くなるかを体験して頂きます。（協力：江波山気象館）

6/22 in マツダスタジアム

日時 平成 25 年 6 月 22 日（土）11:00～14:30 頃まで
場所 MAZDA zoom-zoom スタジアム広島

6月22日広島カープ vs 東京ヤクルトの試合開始前（14時プレイボール）に球場周辺（3塁側チケット売場横）で「防災フェア」を開催致します。



※パネル展は球場内のため、入場券が必要になります。

7/13 in エディオンスタジアム

日時 平成 25 年 7 月 13 日（土）15:00～19:00 頃まで
場所 エディオンスタジアム お祭り広場

7月13日サンフレッチェ広島 vs セレッソ大阪の試合開始前（19時キックオフ）に、お祭り広場周辺で「防災フェア」を開催致します。



雨が降ったらまずは確認を！



太田川の防災

自然災害から身を守るためには、日頃からの備えと心がけが大切です。テレビやラジオ、インターネットを利用して正確な情報を入手し、早めに避難の準備や避難行動をしましょう。

<X-RAIN>



リアルタイムで「X-rain」の降雨観測情報の配信を開始しました。下記のHPよりご覧頂けますので、今後の防災活動等にぜひご利用ください。

<http://www.river.go.jp/xbandrader/>

<地上デジタル放送を用いた防災情報>



NHK 総合の「地デジデータ放送」にて河川水位や雨量の情報を提供を開始しました。リモコンのdボタンを押して「河川水位・雨量（くらし）」を選択することで、テレビでも容易に河川水位や雨量を確認することが可能となりました。

<太田川・小瀬川流域の気象>



太田川・小瀬川における出水と気象の関係性をまとめた「太田川・小瀬川流域の気象」を刊行いたしました。当事務所のHPにPDFデータを掲載しておりますので、ぜひご利用ください。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/otagawa/topics/press22/pdf/20120921kishou.pdf>

主催：国土交通省中国地方整備局 太田川河川事務所 共催：広島市